

高齢者の安全・安心を実現するための行動理解・行動蓄積技術，それに基づく個別機能化システム

佐藤 知正^{1,a)}

概要：まず，高齢者が必要としているサービス，もの，社会のしくみを整理する．次に，それを実現する科学技術として，人の行動理解の研究，理解情報の蓄積とその活用に関するこれまでの研究を紹介する．具体的には，人間行動認識のための視覚処理や情報処理，センサ融合や行動情報情報処理，その応用機能や使い方の研究例を説明する．これらの研究は，人の生活のロギング，機械の稼働状況のロギングとその統合研究となっており，このように蓄積されたビッグデータが将来重要となる個別機能化システムを可能とし，新産業を創出することを述べる．

¹ 東京大学大学院情報理工学系研究科知能機械情報学専攻
113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1
Graduate School of Information Science and Technology,
Univ. of Tokyo
7-3-1 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo 113-8656, Japan

a) tomomasato@jcom.home.ne.jp